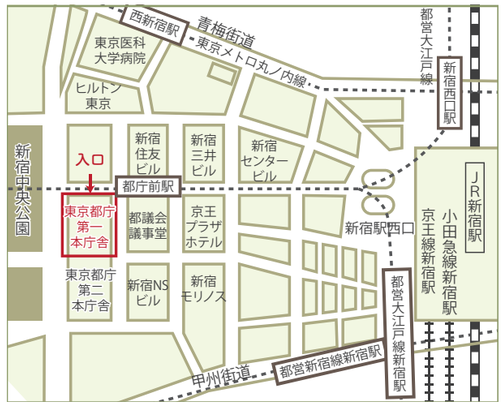
アクセス

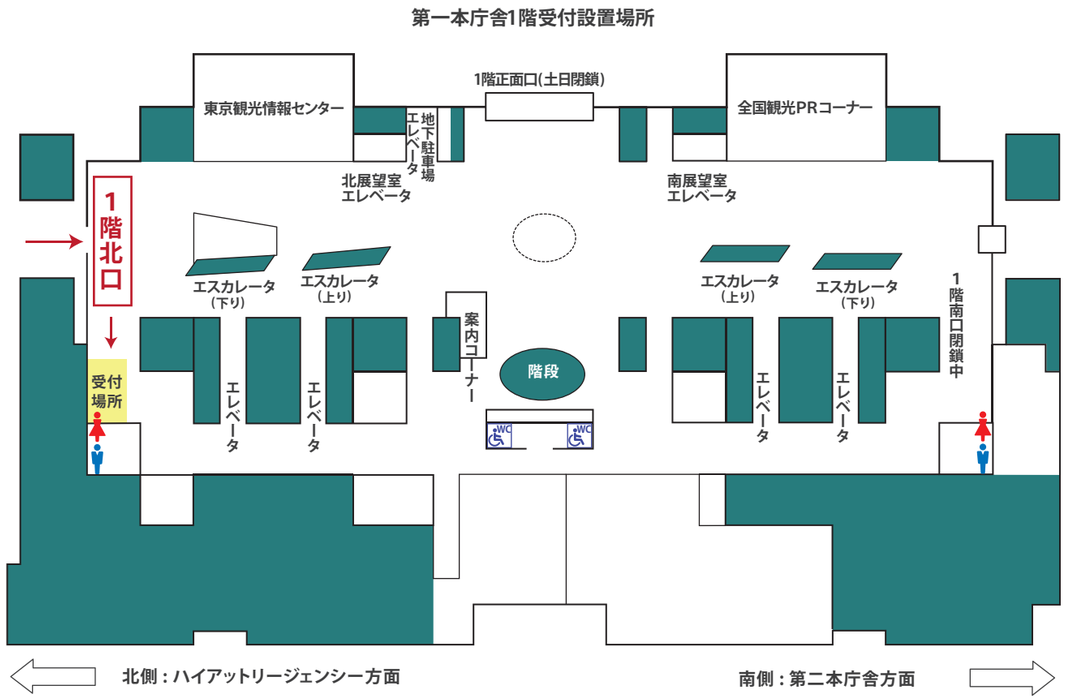
東京都庁第一本庁舎
東京都新宿区西新宿２丁目８-１

会場入り口は都庁第一本庁舎北側です。

【最寄駅からのアクセス】
都庁前駅（都営大江戸線）徒歩1分
新宿駅（JR線・小田急線・京王線）西口徒歩10分
西新宿駅（東京メトロ丸ノ内線）徒歩７分



会場案内図



※当日は、オンラインによる同時配信も行いますので、会場内の撮影を行います。また、後日、イベントの様子を東京都のウェブサイトで掲載させていただく場合があります。
※当日は、1階受付で入庁証をお渡ししますので、分かる位置に身に着けてください。また、お帰りの際は、必ず1階受付へご返却ください。

東京iCDCフォーラム運営事務局
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル【受付時間】：平日9:00～17:00
050-4560-4707 ADE.JP.tokyoicdc@jp.adecco.com
当事業は東京都より委託を受け、アデコ株式会社が運営しています。

TOKYO iCDC

都民を感染症から守る

東京iCDCフォーラム

令和7年(2025年)
2.1(土) 13:30▼16:00 ▶ **2.2(日)** 13:30▼17:30

会　場　東京都庁第一本庁舎５階大会議場
オンライン参加も可

プログラム

令和７年２月
東京iCDC所長
賀来 満夫

みなさまこんにちは。東京iCDC所長の賀来満夫（かく みつお）でございます。
東京iCDCでは、感染症への理解を深めるきっかけとして、昨年度より「東京iCDCフォーラム」を開催しています。
今回は２日間にわたり、より充実した内容をみなさまにお届けいたします。

1日目は、能登半島地震から１年が経過した今、被災地支援の経験などを踏まえて「感染症×災害」をテーマに専門家やフリーアナウンサーの武田真一さんが講演を行います。
会場では、断水時にも使用可能な循環型ポーダブル手洗いスタンドや目に見えない汚れを数値化する装置、その他防災関連グッズを展示し、実際に見て触って体験しながら災害時の感染対策を学ぶことができます。
２日目は、ネクストパンデミック、ワンヘルスをテーマにした座談会や米CDC東アジア太平洋地域事務所などと討論会を行います。ここでしか聞くことのできない熱いディスカッションをぜひお聞きください。

今回の「東京iCDCフォーラム」が、災害時に健康と生命を守るために、みなさま一人ひとりが感染症対策を考えるきっかけになれば幸いです。

1日目

13:30 都知事挨拶（ビデオメッセージ）

【司会】 賀来 満夫氏 / 東京 iCDC 所長

13:40 専門家による講演

①災害と感染症
加來 浩器氏 / 防衛医科大学校

どんな災害が起こったときに、どのような感染症のリスクがあるのか、わかりやすく解説します。また、避難所でのDX活用についても提言します。

②災害時における対応
泉川 公一氏 / 長崎大学大学院
菅原 えりさ氏 / 東京医療保健大学大学院

DICT（災害時感染制御支援チーム）の活動や、被災地における避難所の感染対策やトイレなどの様々な課題や問題などについてお話しします。

③被災地支援の実際
山下 公平氏 / 多摩小平保健所
岡田 美保氏 / 保健医療局保健政策部

能登半島地震発災後に派遣されたDHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）及び保健師班の活動を通じて、被災地支援についてご紹介します。

休憩

15:15 ゲスト講演

「被災地と未災地を繋ぐ」 武田 真一氏 フリーアナウンサー

災害が頻発する中、どのように被災地を支援すればよいのか。そのキーワードが「関係人口を増やす」。
人口減少の中で被災地に係る人を増やしていくことで消滅の危機に瀕したコミュニティを維持していこうという考え方だ。人と人の繋がりや「利他の心」の涵養は新型コロナの教訓でもある。被災地と「未災地」の対等な関係性の構築について考える。

15:45 都民からの質問コーナー

事前に皆様から寄せられた質問について、専門家、ゲストがお答えします。

16:05 終了

展示コーナー

1日目には被災地の感染対策支援物資などを展示します。
実際に体験頂くことも可能です。

- 避難所用テント
- 段ボールベッド

ATP拭き取り検査
※目に見えない汚れを数値化する装置

ラップ式簡易トイレ

循環型ポータブル手洗いスタンド

2日目

13:30 主催者挨拶 成田 友代氏 / 保健医療局 技監

13:35 座談会 ①ネクストパンデミック

【座長】 四柳 宏氏 / 東京大学先端医療研究センター
奈良 由美子氏 / 放送大学

【新興ウイルス感染症とワクチン】 長谷川 秀樹氏 / 国立感染症研究所
ネクストパンデミックの可能性となるウイルスについて、鳥インフルエンザを中心に紹介します。また、ワクチン開発の取組について概説します。

【サーベイランス】 鈴木 基氏 / 国立感染症研究所
パンデミックに備えるには、平時からの重層的なサーベイランスが必要です。今後導入予定のARIサーベイランスを含め、データの収集やその活用について紹介します。

【危機管理（公衆衛生）】 中島 一敏氏 / 大東文化大学
新興・再興感染症等のアウトブレイクに対する健康危機管理対応に関して、蔓延防止のためにはどのように社会全体が連携して備えるのか、公衆衛生の視点から総括します。

14:50 座談会 ②ワンヘルス

【座長】 松本 哲哉氏 / 国際医療福祉大学
森田 公一氏 / 長崎大学感染症研究出島特区

【動物由来感染症】 前田 健氏 / 国立感染症研究所
動物から人へ伝播する感染症について、エムポックスや蚊媒介感染症を中心に紹介するとともに、人・動物・それを取り巻く環境を包括的に捉えるワンヘルスの観点で概説します。

【環境と感染症】 國島 広之氏 / 聖マリアンナ医科大学
災害や気候変動などの大きな環境の変化が人や動物の健康にどのような影響を及ぼすのか、感染症への影響を中心に紹介します。

【薬剤耐性（AMR）】 三鴨 廣繁氏 / 愛知医科大学大学院
薬剤耐性菌は世界的に増加しており、感染症の治療や予防への影響が大きく喫緊の課題となっています。日本での薬剤耐性菌の状況や蔓延を防ぐための取組、感染対策などを解説します。

休憩

16:30 討論会 ～感染症対策における連携や今後の展望について～

米CDC東アジア太平洋地域事務所設置から1周年、国はまもなくJIHS（国立健康危機管理研究機構）を立ち上げるこの時期に、米国、日本、東京都が今後のパンデミックを見据え、それぞれが果たす役割や連携の在り方、今後の方向性などを議論します。

【司会】 脇田 隆字氏 / 国立感染症研究所
Michelle McConnell 氏 / 米CDC東アジア太平洋地域事務所
大曲 貴夫氏 / 国立国際医療研究センター（R7.4月 JIHS へ組織改組）
成田 友代氏 / 保健医療局 技監
賀来 満夫氏 / 東京 iCDC 所長

17:30 終了